

令和元年5月22日
宿毛漁業指導所

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、環境調査と並行し、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大0.16細胞/ml(香川県の場合、注意報:100細胞/ml、警報:1,000細胞/ml)確認されました。現在、当プランクトンの細胞数は少ない状態ですが、今後、細胞数の急激な増加によっては、飼育魚のへい死の可能性も考えられるため、海色や飼育魚の状態を注視し、飼育魚にストレスがかからないよう十分注意してください。

また、アカシオ サンガイネアが最大0.76細胞/ml確認されました。

また、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム カテナータムが最大1.5細胞/ml、アレキサンドリウム属が最大0.55細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	アカシオ サンガイネア	ギムノディニウム カテナータム	アレキサンドリウ ム属
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	(細胞/ml)			
片島(別図⑦) 採水時間 9:34 透明度 - m	3.0	22.7	33.7	6.8	0.09	0.09	0	0
藻津②(別図⑩) 採水時間 9:23 透明度 14.5 m	5.0	22.9	34.3	6.4	0.06	0.13	0	0.2
藻津①(別図⑨) 採水時間 9:29 透明度 12.6 m	10.0	22.9	34.4	6.4	0	0.02	0	0.02
大島中央①(別図⑤) 採水時間 9:41 透明度 12.6 m	10.0	22.9	34.4	6.4	0.02	0.04	0	0
小筑紫中央①(別図⑬) 採水時間 9:51 透明度 12.5 m	10.0	22.8	34.4	6.5	0	0.01	0	0
白簾(別図④) 採水時間 10:03 透明度 13.0 m	10.0	22.9	34.4	6.5	0	0.02	0	0